

彈琴結談歌人。弘化四年二月十六日攝津國川邊郡伊丹村生れ、大正六年十一月十二日没（八四七一—九七〇）。通稱琴平。別號桐園、琴翁。

少時橋本香坡（漢學）、和田を作り書を學ぶ。文久二年華道の師元村左中に初めて和歌を學び、その後同郷の中村良顯公入門、國學、和歌を修めた。學問の志（七）を養ひ、醸造業の家督を姉に譲つて別居したが、のちの『（傍訓）日本酒醸造法』（明治十七年四月大阪・藜光堂）の一書を書はしてゐる。明治五年兵庫縣公出仕、戶籍掛となつて法規書類の編纂上梓に従事。十二年結婚して大阪高麗橋に轉居し、明治中期に於ける大阪歌壇の有力結社となる桐園吟社を設立した。また和歌の他、觀世流謡曲の名手と、八雲琴といふ縁達して皆博の腕前を有ち、二十九年には琴祝會を催し盛會となつた。

著書に『俗謡雜調』（明治二十四年四月十二日出版番・十七日版權元許、大阪・桐園出版掛）の他、『（再）撰類題秋草集初編』全二冊（明治二十五年五月十二日大阪・桐園）、『明治五十八一首初編』（明治二十二年六月二十五日大阪・桐園）、『（明）治三十年御題歌共進歌集』（一近世二百一首第一編）附載、明治二十年十月二十七日大阪・月刊（等）編輯出版。一方當時として『（明）唯一』と云へる私家版慶弔詞集の編輯業務を請負ひ、その制作本も多い。門人

副書『桐園歌草附録』（（明）治三十年）

明治四十年七月二十三日大阪・彈琴

平刊）がある。

